



5月の地場産物

きゅうり

あかいわ市のまつきできゅうりをつくっている、いとそさんです。

あたらしくちばから来られて、あんしんあんぜんやさいの野菜をつくっています。

5月23日の【はりはりづけ】
に使っています。

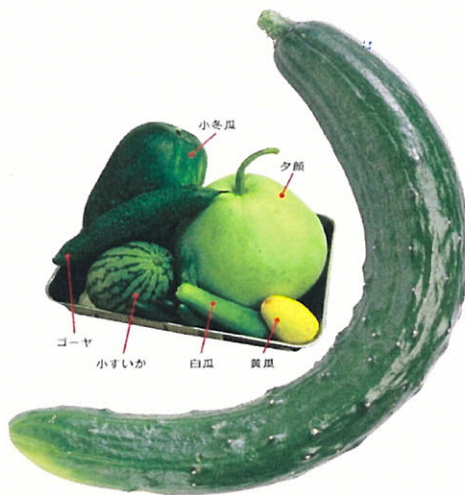


3月はじめに黒いシート(マルチ)に穴を開けて、きゅうりの苗を植えていきます。

きゅうりの根元には自動で水を与えるホースがあります。1株に1日3リットルの水を与えています。

きゅうりの成長は早く、1日で3cmほど長くなります。そのため朝、夕方と2回収穫をします。多い時には100kg収穫することもあります。

ウリの仲間



きゅうりと同じ仲間(ウリ科)は世界に600種類以上あります。日本では大昔からおおむかしから食べられていて、縄文・弥生時代の遺跡からウリ科の種が見つかりました。スイカやとうがん、夕顔(かんぴょう)もおなじ仲間です。にがうり(ゴーヤ)は、沖縄や九州で食べられていたものが、ブームになり全国に広まりました。また、白よけ対策でみどりのカーテンとして作られています。

★きゅうりクイズ★

Q1 きゅうりに含まれる水分はどれくらいでしょう?

①90%

②50%

③30%

答え: ① きゅうりのほとんどが水分ですが、体のむくみをとる、熱を下げる成分がありへたにある苦味には、がんをやっつける成分も含まれています。

